

レジメンスケジュール

診療科	乳腺外科
適応	乳癌
レジメン	乳トラスツズマブ エムタンシン療法

申請・改訂日	2023年8月
備考	

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	
適正使用ガイド、がん化学療法レジメンハンドブック	

1クール目																				
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day21	
①		デキサメタゾン注	6.6mg	メイン	15分		○													
		生理食塩液	50mL																	
②	○	トラスツズマブ エムタンシン	※3.6mg/kg	メイン	90分	初回90分、問題なければ以降30分投与可能。要フィルター	○													終了
		注射用水	※																	
		生理食塩液	250mL																	
※100mg/Vは注射用水5mLで、160mg/Vは注射用水8mLで溶解すること(20mg/mL)。溶解後必要量を抜き取り生理食塩液に希釈すること。																				
③		生理食塩液	50mL	メイン	全開	フラッシュ用	○													

2クール目以降																				
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day21	
①		デキサメタゾン注	6.6mg	メイン	15分		○													
		生理食塩液	50mL																	
②	○	トラスツズマブ エムタンシン	※3.6mg/kg	メイン	30分	初回90分、問題なければ以降30分投与可能。要フィルター	○													終了
		注射用水	※																	
		生理食塩液	250mL																	
※100mg/Vは注射用水5mLで、160mg/Vは注射用水8mLで溶解すること(20mg/mL)。溶解後必要量を抜き取り生理食塩液に希釈すること。																				
③		生理食塩液	50mL	メイン	全開	フラッシュ用	○													

通常量	3.6mg/kg
1段階減量	3.0mg/kg
2段階減量	2.4mg/kg
3段階減量	投与中止

減量・中止基準

副作用	程度	処置
左室駆出率(LVEF)低下	LVEFが40%以上45%以下でかつベースラインからの絶対値低下が10%未満の場合	継続する。3週間以内に再測定を行い、LVEF値を確認すること。
	LVEFが40%以上45%以下でかつベースラインからの絶対値低下が10%以上の場合	休薬する。3週間以内に再測定を行い、LVEFがベースラインからの絶対値低下が10%未満に回復しない場合は投与を中止する。
	LVEFが40%未満の場合	休薬する。3週間以内に再測定を行い、再びLVEFが40%未満の場合は投与を中止する。
症候性うっ血性心不全	発現時	投与中止
血小板減少	G3	※本剤は投与後8日目付近で急激な血小板減少の報告があるため注意が必要。 休薬する。G1以下に回復後減量せず再開可能。
	G4	休薬する。G1以下に回復後1段階減量して再開可能。
AST/ALT上昇	G2(>3~5×ULN)	減量せず継続。ただし総ビリルビンも>2×ULNの場合は中止する。
	G3(>5~20×ULN)	休薬する。G2以下に回復後1段階減量して再開可能。
	G4(>20×ULN)	投与中止
総ビリルビン上昇	G2(>1.5~3×ULN)	休薬する。G1以下に回復後減量せず再開可能。
	G3(>3~10×ULN)	休薬する。G1以下に回復後1段階減量して再開可能。
	G4(>10×ULN)	投与中止
末梢神経障害	G3以上	休薬する。G2以下に回復後減量せずに再開可能。